地活協レポート

令和７年１月

No.46

東淀川区役所
地域課（地域）
06-4809-9509
tm0011@city.osaka.lg.jp

■豊里南・ウインターフェスティバル（12月8日）

豊里南地域のウインターフェスティバルが豊里南小学校で開催されました。この事業は子どもの居場所づくり運営事業の一環で今回は炊き出し訓練もかねてもちつき大会が行われました。きなこ、ぜんざい、大根おろしなど食べ方も多数あり写真の通り行列ができるほどの盛況でした。

地活協会長にお話を伺うと、小学生や豊里南小学校ＯＢである中学生が多数ボランティアで参加しているとのこと。実際防災備品として保管されていたペットボトルの水を配っていましたが、水が入った段ボール箱をみんなで運んでいる姿を見かけました。

豊里南地域の子どもの居場所づくり運営事業は今回のもちつき大会のようなイベントも開催されますが、普段は毎週木曜日小中学生を対象に「のびのび学習室」を実施されています。のびのび学習室を利用している小中学生が今回ボランティアになったのかは定かではありませんが、このように普段から地域が子どもたちと関係性を築くことが重要だと思いました。

◆地域課からのお知らせ

■東淀川区まちづくりフォーラム（11月22日）

東淀川区まちづくりフォーラムを開催しました。今回のテーマは「町内会と地活協～令和時代の地域活動について考える～」。ライフスタイルや価値観の多様化などによる地域の変化の中で、考えるべき視点について学びました。

基調講演は、株式会社ＨＩＴＯＴＯＷＡの奥河洋介さんをお招きして「時代に合ったご近所の関係性のあり方」について、まちのね浜甲子園の事例をもとに、お話しいただきました。また、区内の話題提供として、菅原地域の柏原会長、豊新地域の川崎会長にそれぞれの町会での町会加入促進事例についてお話しいただきました。

お２人に共通していたのは「町会加入者へのメリットを明確にされていること」、そして「広報の手段として、ＬＩＮＥ公式アカウントを活用されていること」でした。掲示板や回覧板（紙媒体での周知）では届きにくい、若い世代への情報共有は、ＬＩＮＥをはじめとしたＳＮＳがやはり効果的なようです。

地域課からは、今夏に実施した２つのアンケート「町会の現状に関するアンケート」、「参加しやすい地域活動の曜日・時間帯に関するアンケート」の報告もさせていただきました。アンケート結果は、近日中に区ホームページに掲載予定ですのでご確認ください。

終了後のアンケートでは、「大変参考になった」「参考になった」の回答が９０％と高く、具体的には、「新しい気づきがあった」との回答が数多くありました。

まちづくりフォーラムは、今後も年１回開催の予定です。来年も、ぜひご参加ください。